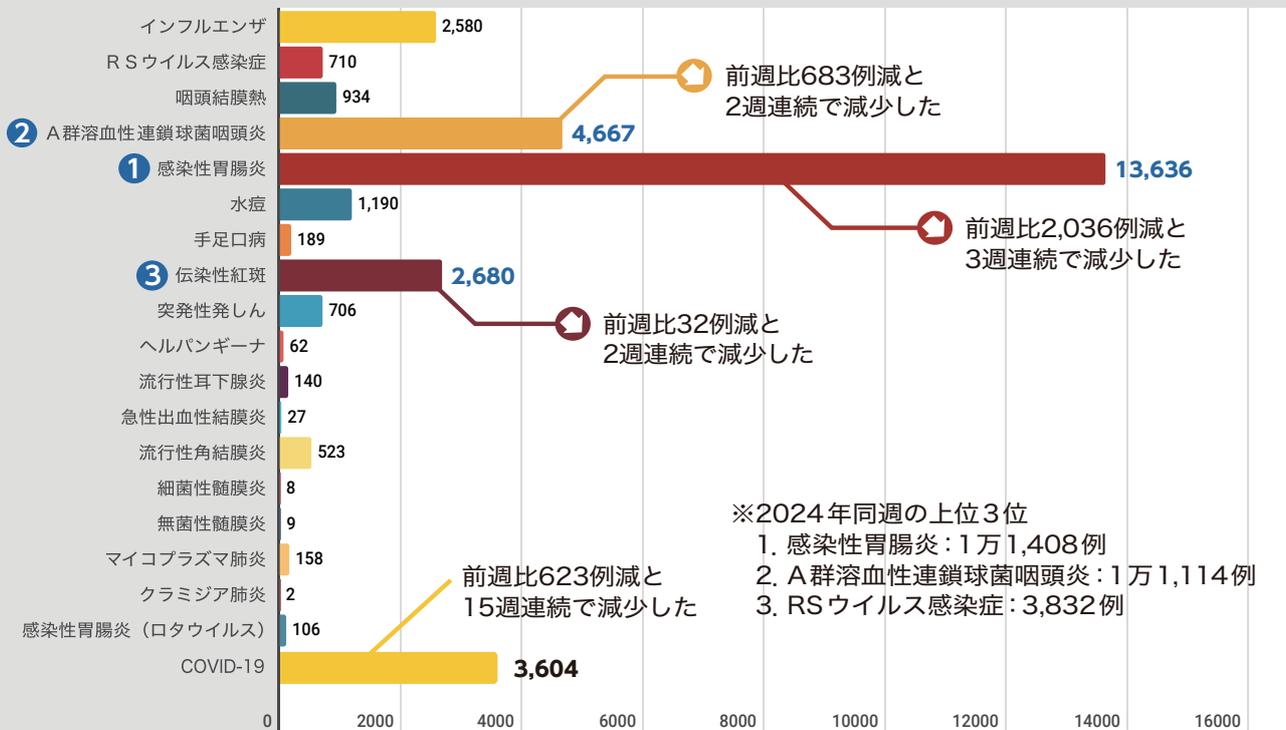




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

伝染性紅斑9道県で警報レベル、マイコプラズマ肺炎増加

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位

1. 感染性胃腸炎：1万1,408例
2. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎：1万1,114例
3. RSウイルス感染症：3,832例

(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都：1,515例
2. 大阪府：1,188例
3. 兵庫県：737例

定点当たりの報告数(5.78)

- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 岐阜県：13.37 | 4. 岡山県：9.50 | 6. 宮崎県：9.00 | 10. 島根県：7.18 |
| 2. 大分県：11.25 | 5. 鹿児島県：9.42 | 8. 福岡県：8.89 | 11. 奈良県：7.13 |
| 3. 愛媛県：10.38 | 6. 石川県：9.00 | 9. 山口県：7.63 | 12. 熊本県：7.00 |

② A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都：744例
2. 埼玉県：347例
3. 北海道：288例

定点当たりの報告数(1.98)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 茨城県：5.08 | 4. 埼玉県：3.13 | 7. 東京都：2.82 | 10. 富山県：2.59 |
| 2. 栃木県：3.59 | 4. 宮城県：3.13 | 7. 北海道：2.82 | 11. 長崎県：2.55 |
| 3. 愛媛県：3.52 | 6. 福岡県：2.93 | 9. 大分県：2.69 | 12. 山口県：2.30 |

③ 伝染性紅斑

報告数

1. 北海道：293例
2. 埼玉県：186例
3. 東京都：180例

定点当たりの報告数(1.14)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|--------------|
| 1. 栃木県： 4.19 | 4. 北海道： 2.87 | 7. 新潟県： 2.20 | 10. 静岡県：1.97 |
| 2. 宮城県： 3.23 | 5. 群馬県： 2.60 | 8. 茨城県： 2.11 | 10. 石川県：1.97 |
| 2. 山形県： 3.23 | 6. 福島県： 2.57 | 9. 富山県： 2.07 | 12. 長野県：1.80 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比2,036例減と3週連続で減少し、1万5千例を割り込んだ。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は683例減と2週連続で減少した。伝染性紅斑は32例減と2週連続で減少したが、定点当たりの報告数は栃木県、宮城県、山形県、北海道、群馬県、福島県、新潟県、茨城県、富山県の9道県で警報レベル(2.00)を超えた。COVID-19は15週連続で減少した。多くの感染症が減少する中、マイコプラズマ肺炎は6例増とわずかに増加した。定点当たりの報告数は福井県(2.00)、秋田県(1.25)、広島県(0.90)、島根県(0.75)、愛媛県(0.67)の順に多かった。今後の動向に注意が必要である。